

## ニューガラス大学院を受講して

NH テクノグラス株式会社 製品技術部

堂 本 浩 世

### Report on Seminar on New Glass

Hiroyo Domoto

Product Engineering, NH Techno Glass Corporation

私は 98 年 4 月入社の新入社員です。

ニューガラス大学院を受講させていただいたのは 10 月で、まだ仕事のしくみも内容もわからないことの方が多く、もっと勉強していってほしいという上司の薦めによるものでした。

場所は東京タワーの足下にある、機械振興会館で、東京に行くのも数回目という私は上を見ながら歩きました。

期待の大学院は基礎過程と応用過程に分かれており、両過程とも受講生が多く先生もお話上手な方が多かったのが印象に残っています。

特に興味を持ったのが、基礎過程での「ニューガラス評価技術」です。主にガラスの表面状態の分析技術の紹介で、他の受講生からの質問も特に多かったように思います。私自身も、TOF-SIMS（飛行時間分解型質量分析装置）を利用して、ガラス表面の薄い汚れの原因を、ガラスを搬送する吸盤ゴムの材質ごとの汚れ結果と比較して追跡する話等、当社製品の液晶基板用ガラスは表面のスペックが厳しいこともあり、参考になる話がたくさん伺えました。また、企業の方が講師であったため、分析測定方法だけでなく、実際に製品に活用したときの試

行錯誤を含めた生の話を聞くことができ、興味深かったです。

基礎過程ではガラスメーカーの技術員・ガラスの研究者として知っておきたい基礎知識が系統だってまとめられており、どちらかを受講される方にはこちらがお奨めです。また応用過程では、現在・未来のニューガラスの研究方向が幅広く紹介されており、ガラスには解明すべき謎が多いこと、それによってまた新たな利用法が考えられることなど、ガラスの面白さを感じました。

さらに、これからニューガラス大学院を受講される方に向けて、安心して受けていただける点として以下を挙げます。

- 講師の方々は説明上手でした。短時間に盛りだくさんの講義内容というのは集中講義では多く見られる問題点ですが、それでもわかりやすく説明してくださる方が多かったです。
- また、今回は先にテキストが配布されていたため、予習で生じた不明点に対しては授業後の質問で補うことが出来、講師の方には抜粋形式で流れを持った授業をしていただけで、時間の無駄が無く良かったと思います。

- 人数を制限して小教室で行われたため、基本的なことです。が、声が聞こえない・OHPが見えないなどの心配は有りませんでした。

4日間の受講を終え、2ヶ月を経た現在はようやく仕事にも少し慣れてきたように思います。受講中に教えていただいたことは、たった

2ヶ月の間ですがいくつも役立っており、やはり受けさせていただいて良かったというのが今の感想です。

末筆になりましたが、ニューガラスフォーラムの今後ますますのご発展をお祈りしております。講師の先生方、ありがとうございました。

受講最後の日に見た、ライトアップされた東京タワーはとてもきれいでした。